

令和6年度 第2回
首里城公園管理体制構築検討委員会

【資料4】防災設備等の取扱いに係るツールについて

1. 防災設備取扱いに係るツールについて

(1) 令和6年度検討事項

- ・防災設備の取扱方法について、公園利用者にもわかりやすく説明できるような取扱説明資料及び防災標識に関する事例収集を行い、首里城公園での運用を検討する。

目的（※現場従事者及び公園利用者に対する対策強化）

【公園利用者】万一の地震や火災等の発生に備え国籍・老若男女問わず簡単に理解できる、消火設備の使い方や避難経路周知を図る。

【現場スタッフ】教育訓練・初動対応での活用

事例収集対象施設：沖縄県内他施設、城・神社仏閣などの歴史的建造物、東日本大震災等の大規模地震を経験した大規模集客施設等

調査内容：消火設備等の使い方や避難経路周知のための防災標識等の内容・デザイン、周知・配布方法、デジタルサイネージの活用状況等

消火器操作のイラスト



「NHK福岡 防災ステーション2018」

イラストレーター 神谷みなみHP

(<https://minami-kohya.com/works/370>)

わかりやすい初動対応マニュアルと動画の説明



防災ウェブサイト『31防災Web』三井不動産HP
(<https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/news/2019/0603/>)

2. 国内事例収集結果

(1) 事例結果報告

- ・前頁で挙げた目的を達成するために、フォントやコントラスト、色分けなどの“視覚的な明瞭さ”、緊急時にも活かされる“耐久性と携帯性”、必要な情報をすぐにアクセスできるような“リスクごとの分かりやすい表記”などの観点から事例調査（机上調査＋現地調査）を実施した。調査結果を以下にまとめ、首里城公園に不足しているものについては、導入を検討する。

事例 1) 沖縄科学技術大学院大学 (OIST)

- ・大学の特性上、学生・教職員の半数以上を外国人で占めていることから、学内の掲示物は日本語と英語で表記をしており、視認性の観点からイラストや色で区別をすることでひと目で分かるように工夫がされている。また、大学内の至る所に緊急時の対応手順や連絡先が掲載されたガイドラインを掲示しており、外部の者も含め、平時及び緊急時に確認することができるようになっている。

学内地図（避難経路含む）

緊急時の対応手順及び緊急連絡先ガイドライン



2. 国内事例収集結果

事例2) 国内の他の城

- ・首里城公園と同じような背景や特徴を持つ施設として、防災に取り組んでいることが想定される城の調査を実施した。外国人観光客も多く、多言語での表記や説明、ピクトグラムを用いた視覚に訴える注意喚起、LINEを活用した緊急情報発信など、それぞれの施設で異なる特徴が見て取れた。

二条城（避難場所、注意標識）



犬山城（避難場所及びLINEの周知）



熊本城（導線、避難経路）



2. 国内事例収集結果

事例3) 東京都生活文化スポーツ局

- ・東京を訪れる外国人旅行者に向けた防災情報の周知の一環として、「防災リーフレット」や「外国人のためのヘルプカード」を作成・配布している。それぞれ日本語の他に、英語や中国語、韓国語などを用意しており、様々な国籍の旅行者に読んでもらえるように工夫をしている。実際に東京国際フォーラムでは、これらの資料を案内所付近に設置しており、外国人向けに配布をしている。

■**防災リーフレット**：やさしい日本語、中国語・韓国語、英語・タガログ語、ベトナム語・ネパール語が用意されている。



■**外国人のためのヘルプカード**：中国語・韓国語・英語・日本語、タガログ語・ベトナム語・日本語、タイ語・ネパール語・日本語、フランス語・ミャンマー語・日本語、スペイン語・ポルトガル語・日本語が用意されている。



※東京国際フォーラムにて撮影



「外国人向け防災情報「防災リーフレット」、「外国人のためのヘルプカード」」東京都生活文化スポーツ局
(https://www.seikatubunka.metro.tokyo.lg.jp/chiki_tabunka/tabunka/tabunkasuishin/0000000144.html)

2. 国内事例収集結果

事例4) コンパクトサイズガイド・デジタルサイネージ等

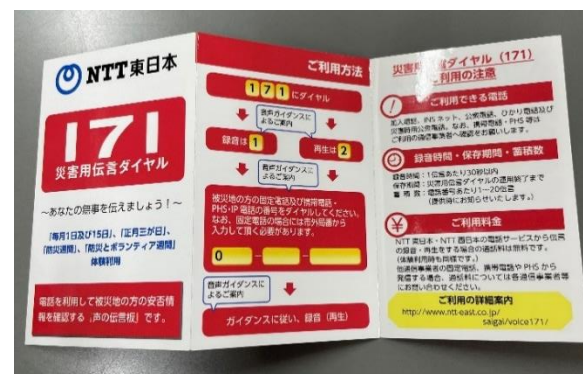
■コンパクトガイド



南城市インデックス付き防災コンパクトガイド



NTT東日本 災害用伝言ダイヤル ガイド



■長野県立美術館屋内消火栓



■高松空港デジタルサイネージ



■デジタルサイネージの例



(出所：総務省消防庁「「国外来訪者や障害者等が利用する施設における災害情報の伝達及び避難誘導に関するガイドライン」の手引き」

(出典：よりみち軽井沢,「長野県信濃美術館が長野県立美術館として生まれ変わったので行ってきました」より引用, <https://deaumagazine.com>) (出典：高松空港,「館内放送設備・デジタルサイネージへの「災害情報連携システム」導入について」より引用, <https://www.takamatsu-airport.com/news/info/20231115-7223/>)

3. 首里城公園における基本的な考え方

(1) 防災設備等の取り扱い説明目的・対象別の考え方

- ・ 防災設備等を安全かつ便利に使用してもらうためには、必要な情報を誰もが分かりやすく見やすいように伝える必要がある。また、公園利用者と現場スタッフでは、初動対応等の役割が異なるため取り扱い説明の形態がいくつか必要であることを想定して検討する。

目的

- ・ 公園利用者への防災設備等の取り扱い説明は、多言語表記のひと目でわかるようなデザインとし、落ち着いて防災設備を使用してもらうことや迅速に情報を伝達することを目的とする。
- ・ 現場スタッフの防災設備等の取り扱い説明は、持ち運べるコンパクトな形態で発災時の初動対応や設備の説明を表記する。

【対象者向けの考え方】

項目	来園者	現場スタッフ
目的	・ 混乱の防止 ・ 発災時に落ち着いて防災設備を使用するため ・ 多言語での情報提供で外国人にも情報を伝える ・ 迅速な情報伝達	・ 発災時に率先して迅速な対応を行うため ・ 一貫した対応を行うため ・ 安全確保のため ・ 訓練と再発防止
情報	・ 消火器取り扱い説明 ・ 防災情報 ・ 避難経路 ・ 注意喚起	・ マニュアルの項目（想定するリスク別の初動対応） ※次スライドに記載 ・ 各種設備の取り扱い説明 ・ 各種関係機関の連絡先
媒体形態	・ デジタルサイネージ ・ パンフレット ・ 案内板	・ 手のひらサイズのコンパクトな形態 ・ 本部におくマニュアル本 ・ デジタル媒体（スマホアプリ等）
その他	・ 首里城の景観を損なわないデザイン面での配慮が必要	・ 現場スタッフ内での教育、訓練、周知 ・ 被災後の支援体制 ・ 非常食・水の提供等

3. 首里城公園における基本的な考え方

(2) 初動対応マニュアルの具体的運用の考え方

- ・昨年度（令和5年度）は「素屋根見学者の避難誘導等初動対応計画」を作成した。本資料は現在運用中の防災計画や消防計画等をもとに避難誘導を中心に整理したものである。**令和6年度は想定リスクの範囲を広げ、正殿単体完成時における初動対応マニュアルを作成中**である。
- ・初動対応マニュアルについては、沖縄県及び指定管理者、さらには国等の各種関係者の役割や手順を理解し、共有するために総論的、網羅的にとりまとめるものだが、**一方で現場スタッフが迅速かつ効果的な対応にあたれるよう、別途、現場スタッフ用の簡易版マニュアル作成を検討する。**
- ・現場スタッフ用の簡易版マニュアルについては、**OISTや事例にあったコンパクトサイズガイドのようなシンプルで明確な構成、視覚的な分かりやすさ、耐久性と携帯性、ユーザー中心の設計が求められる。**

正殿完成時の初動対応マニュアル（総論）

今年度作成＜目次構成案＞

（正殿単体完成時における初動対応マニュアル（管理者用））

1. 本書の目的・概要

2. 危機管理基本方針

3. 想定するリスクと対象範囲

4. 危機管理体制＜平時の安全管理体制 / 危機発生時の体制＞

5. 個別リスク顕在化時の初動対応手順

⇒各想定リスクが顕在化した際の、現場及び管理センター、国・県等のステークホルダーそれぞれの初動対応を記載
（※雑踏事故、混雑へのリスクを追加）

6. 重大クライシスとなった場合の対応

⇒発災当日の初動対応以降の危機対応について記載

7. 危機の収束（平時体制への移行）

⇒危機収束の判断基準や判断者、収束後の原因究明や再発防止に向けた取り組みについて記載

8. 資料編

簡易版マニュアル（現場スタッフ用）

項目（案）	記載内容
緊急連絡先	第1報の連絡先（管理センター等）及び消防や警察等の緊急時の連絡先
避難	避難時の注意事項や首里城公園内の一時避難場所、那覇市の指定避難所等
火災	火災発生時の初動対応（連絡、初期消火、救助、避難等）や消火器の使い方等
地震	地震発生時の初動対応や留意事項、地震に関する情報収集先等
重大犯罪（テロ）	重大犯罪（テロ）発生時の初動対応や留意事項等
重大事故	重大事故発生時の初動対応や留意事項等
熱中症	熱中症の症状や熱中症の疑いがある場合の対応、救護室の場所や連絡先等
怪我・病気	緊急性が伴う症状や発見時の対応、救護室の場所や連絡先、AEDの場所や使い方等

※各項目1枚ずつ作成し、必要な情報に迅速にアクセスできるようにする。8